

科 目 名

社会調査法 Social Research

3年 前期 2単位 選択

田 代 敬 大

概 要

社会経済は見ることも触れることもできず、これを認識するためには社会科学の見方・考え方の学習が必要であり、現象を把握するためには社会経済調査が必要である。ここでは、資料調査・ヒアリング調査・アンケート調査等の社会調査法を概説するとともに、環境意識調査、環境評価（CVM）、マーケティング（需要調査）等を応用例に PC を活用した演習を行い、社会調査の基礎を習得することを目標とする。

目 標

- 1) 社会調査の基本的な概念と考え方を理解する。
- 2) 表計算ソフト等を活用して、アンケート集計の簡単な計算法を修得する。

授業計画

テ ー マ	内 容
1) 社会調査法の概説	社会調査の意義と対象
2) 社会調査の基本性格	測定可能性、信頼性・精度
3) 社会調査手法の種類と手順	既存資料と調査手法・手順
4) 資料調査 1	既存社会経済資料の体系
5) 資料調査 2	社会経済指標の概要
6) ヒアリング調査 1	ヒアリング調査の意義・手法・留意点
7) ヒアリング調査 2	演習
8) アンケート調査 1	アンケート調査の概要
9) アンケート調査 2	分析手法の概要
10) アンケート調査 3	調査票作成の留意点
11) アンケート調査 4	演習
12) 応用例 1	環境意識調査
13) 応用例 2	環境評価（CVM）
14) 応用例 3	マーケティング（需要調査）
15) 定期試験	成績評価

授業方法

教科書と配布するプリントを基に講義するが、簡単な計算練習とともに計算ソフトを活用した演習を行う。

学習到達度の評価

- 1 授業中に教員より質問し理解度を促す。学生からは授業中・後に質問を受け授業を補足する。
- 2 適宜、レポートを課して、授業の理解度および発展学習を促す。
- 3 学生による授業評価、学生自身による自己評価の結果が出た時点で今後の授業の参考とする。

評価方法

レポート、定期試験の成績等を勘案して評価を行う。

教 材

教科書：酒井 隆「図解アンケート調査と統計解析がわかる本」日本能率協会
参考書：安田三郎、原 純輔「社会調査ハンドブック」有斐閣